

仲間と絆の全校ダンス



盛岡・杜陵高 来年度創立100周年

指導者招き練習開始

記念式典で発表へ

盛岡市上田に本校を構える杜陵高（三田正巳校長、生徒444人）は、来年度の創立100周年記念事業の一つとして、奥州校を含めた全4課程の生徒が参加する「全校ダンス」の取り組みを始めた。記念式典での発表に向け、1年かけて練習し、仲間との一体感や絆の大切さを学ぶ。

一人組となり、マクドナルドさんのカウントで体を動かし、左右に体を曲げて「なごごーモア」を交えた指導に、緊張した面持ちだった生徒の表情もほぐれた。ダンスでは生徒それぞれの個性が輝く要素も盛り込んでいく。練習に参加した阿部羽海さん（2年）は「ダンスは初めてだが、友達と踊って楽しかった」とほほ笑んだ。

指導するのはロンドンでプロの舞台女優やダンサーとしての活動経験のあるマクドナルドあずみさん（44）。現在は八幡平市のハロウィンターナショナルスクール安比ジャパで演劇とダンスの講師をしている。

今後も対面やオンラインでのダンス指導を続け、本校通信制や奥州校の生徒にも参加を募る。来年10月の記念式典ではオープニングでダンスの成果を発表。練習の様子をまとめた動画も上映し、生徒の成長過程を披露する。

先月下旬に盛岡市上田の同校で初練習し、本校定時制の1、2年生約25人が参加。2

熊谷道仁副校長は「生徒が勇気を出して練習する姿が印象的だった。取り組みを通して仲間との達成感を得てほしい」と期待する。

マクドナルドあずみさん（右）の指導でダンスを練習する生徒

（菊池美帆）